

幼稚園だより

せかいじゅう

幼稚園には昨年から引き続き、7月はシンガポールからしゅんしょう君、9月はスイスからしりお君が、短期間ですが遊びに来てくれました。

また、今年はオーストラリアから西栗倉にホームステイにいられた高校生のお姉ちゃんたちも遊びに来てくれました。幼稚園で英語を教えてくださいたいというマイケル先



生は、アメリカから来られています。日本以外にもいろいろな国があるんだなあと知った子どもたちと一語に、いろいろな国に行つて楽しめるような遊びをしよう、幼稚園では今、世界ごっこをしています。

楽しかった一日入署

10月2日、美作市消防本部で一日入署をさせていただきました。消防署では、たくさんの消防士さんが出迎えてくださりました。



消防士さんが消火活動の時に着る消防服を着させてもらい、ホースを持って放水活動を体験したり、ミニ消防車のシヨウタクくんに乗せてもらったり、地震の時にはどうしたらよいかわかりやすく紙芝居を読んで教えていただいたりと、とても楽しい一日となりました。

消防士さんから、レスキュー車に乗っている道具のお話を聞くことで、火事の怖さや事故の恐ろ

しさなどがとてもよく伝わってきました。子どもたちは「火遊びはしません」「危ない場所では遊びません」と、消防士さんと約束しました。

また、子どもたちは「どうしたら消防士になれますか?」「レスキューになるにはどれくらい勉強したらいいですか?」「女の子でも消防士になれますか?」と、いろいろな質問をしました。一つ一つの質問に、丁寧にやさしく答えていただき、

「大きくなったら僕も消防士になりたい!!」という子どももいました。

楽しく心に残る体験が出来ました。「また行き



たいね」と、帰りのバスの中でも話が出ました。



クラス参観日をしました

9月末から10月にかけて、うさぎ組、くま組、ぞう組と、各クラスごとに参観日をもつけました。保護者の方も、一緒に神原先生と茶道をし、親子でお茶をたてあったり、親子でクッキングをしたり、堰八先生に年齢に合わせたお話をいただきました。

小学校だより

いもほりしゅうかい!

10月7日、いもほり集会がありました。5月に植えたさつまいも。畑に行くたびに水をやったり草を取ったりして、一年生もお世話をしてきました。

掘ったおいもは、1人2個ずつ持ち帰り、おうちで食べました。一年生児童の感想を紹介します。

どんないもがほれるかなあ、とおもいながらほってみると、すごくながいも



をほることができて、うれしかったです。いもを天ぷらにして食べました。だけ

ど、そのときのおいもは学校でほったいもではなかったの、ちよつとぎんねんでした。

(いの上 花りん)

大きないもをほることができました。ぼくの手ぐらの大ききで、ふといおいもでした。すごくおいしかったです。

(いの上 けいた)

いもほりしゅうかいは、れなさんといっしょにほりました。でかいさつまいもをほることができました。うれしかったです。

(いんべ ゆな)

いもほりしゅうかいで、でかいいもをほったことがうれしかったです。おじいちゃんのでかいいもを

して食べました。おいしかったです。

(小ぐら そうま)

はやとさんに手つだつてもらったらおつきいおいもがとれたので、うれしかったです。いえにもつてかえつて、おみそするに入れたり、天ぷらにしたりして食べました。おいしかったです。

(こうの あか音)

大きないもをほることができてよかったです。おうちで、フライドポテトみたいにしていたべました。おいしかったです。

(しらはた こうせい)

いもほりしゅうかいで、ひょうたんみたいないもをほることができておもしろかったです。大きないもがほれました。

(とよぶく もとや)



ひょうたのがたのいもがほれました。小さいいもにしてたべたらおいしかったです。

(のの上 こゆき)

でっかいいもをほりました。ぜんぶで四こほりました。大きないもをほることができてうれしかったです。

(ふくしま かいと)

かぜをひいてお休みしたけど、先生がおいもをもつてきてくれました。やきいもにして食べました。おいしかったです。

(ふくしま ゆきこ)

いぶきさんといっしょにほりました。大きないもがほれました。二こ目はちっちゃいもがほれました。いえで、大学いもとポテトチップスをつくつてたべたら、おいしかったです。

(ふじた きょうか)

そうしきんといっしょに、大きないもをほることができました。

(やしろ あつふみ)

いもほりしゅうかいで、さいしよはいもがなかったけど、ほつていくとあつてよかったです。手のひらくらいの大ききでした。

(山だ しま)

つるがあつたからほとんどんほりつづけたけど、大きないもはなかったです。いもはちっちゃかったけど、たのしかったです。

(いまにし りょうた)

中学校だより

弁論大会開催〜中学生の主張〜

10月2日に校内弁論大会が開かれました。次に挙げる「めあて」のもとに、全校をあげて取り組みました。

①考えをまとめ発表することを通して、自分を見つめ直す。

②友達への考えや意見を聞いて、仲間への理解を深める。

③学級集団を高める。

全校を代表して、白岩瑠美さん（3年）の発表をご紹介します。

「小さな手 大きな手」

三年 白岩 瑠美



幼稚園の頃事故に遭い、それ以来、私の左手はまったく動きません。クラスの間が私の代わりに髪を結んだり、靴のひもを結んだりしてくれます。できないことがあったら、

そっとそばに寄ってきて何でもしてくれます。いろいろと手伝ってくれるので、毎日みんなと同じように生活ができます。小学校五年生からスポーツ少年団で、バレーボールを始めました。初めの頃はまったくできませんでした。サーブ練習で、左手でボールを上げて右手で打つということが、私にはできません。右手でトスし、その手でボールを打つ方法しかありませんでした。トスの高さやタイミングの取り方の

練習を頑張りました。

みんなのボールがネットを越えて行くのに、私だけ手前のコートにぼとりと落ちたり、ネットに当たって落ちてしまうことが、よくありました。悔しくて悔しくて、「絶対にネットを越してやる。」と思って練習しました。

中学生になって、バレー部に入りました。小学校と練習方法も違い、ついていけないのかとても不安になりました。ボールも重くなり、コートも広くなりました。レシーブしたはずのボールはどこかに飛んで行くし、右手だけでのオーバーハンドパスも高く上がりません。みんなはできて、私にはできないことが沢山ありました。パスしたボールの方向がぶれるので、相手に迷惑をかけているのでは、と思うこともありました。腕や指先の当た

る所が数ミリ違っただけで、ボールはとんでもない所へ飛んで行きます。両手でプレーできたらと思うことが度々ありました。

いくら練習しても、レシーブが思うように上がらないし、パスも高くあがらないので、バレーを続けることが苦しくなりました。一年生の三学期にバレー部をやめようと考え、先生に話しました。「いくら練習しても思っただようにはできません。私はみんなに迷惑をかけていると思うとつらくなります。だから、部をやめさせてください。」と伝えました。

すると先生はこう言いました。「苦しんでいるのに気づけずにごめんなさい。でも、みんなに迷惑をかけているという考え方は止めなさい。今まで練習を怠けたことがあ

りますか。ないでしょう。絶対にくじけずにやってきたでしょう。そうやって練習に打ち込む姿が、周りの人をどれだけ勇気づけているか、瑠美さんは気づいていませんよ。だから、迷惑だから退部したいというのは認められません。もう一回考え直しなさい。」

家で母とも相談しましたが、なかなか決論が出ません。そんな時、部の仲間が手紙を渡してくれました。その手紙には、「今までどおり一緒にやっていこう。頑張ろう。」との言葉がありました。何度も何度も読み返しました。励まされる喜びと勇気をもらい、バレーを続ける決心をしました。練習を続けるうちに、サーブのスピードが上がってきました。打っていて自分でも「気持ちいい。」と思えるようになりました。

た。「ナイスサーブ。」と
周りから声をかけられ、
今まで練習してきたこと
が自分なりに出せるよう
になったと感じるよう
になりました。でも、強烈
なサーブを打つ友達を見
ると、あんなサーブを打
ちたいという気持ちをお
さえることができず、涙
が出ることもありました。
そんな時にはあの手紙を
思い出し、自分を奮い立
たせてきました。そして、
良いプレーには素直に声
をかけられるようにな
りました。

そして迎えた最後の夏。
いつもの試合では簡単に
ボールがコートに落ちて
いました。この試合では
どんなに強いスパイクを
打たれても、みんなはど
んどん跳び込んでボール
を上げ、つながり続けま
した。ベンチで声を上げ
る私も、コートの中の仲
間とともに戦っていま
し

た。コートもベンチもギャ
ラリーも、心が一つになっ
ていることが確かに実感
できました。

残念ながら、県大会出
場という願いはかないま
せんでしたが、「気持ち
は一つ、みんなで戦うバ
レー」が最後にできまし
た。バレーボールを続け
て、本当に良かったと思
いました。

私の左手は、あの時の
ままの小さな手。でも私
には、いつも支えてくれ
る沢山の大きな手があり
ます。十二年間、心の支
えとなってくれ、とても
嬉しかったです。いろい
ろなことがあったけど、
楽しく過ごせ、思い出も
沢山できました。みんな
という時間はあと少しで
すが、重なり合った手に
込められた思いを何より
も大切な宝物とし、これ
からも生きてゆこうと思
います。

地域学校保健委員会 講演会のお知らせ



演題 「共に育ちたい ～今、家庭に必要なものは～」

- 講師： 青少年健全育成促進アドバイザー
岡山学芸館高等学校参与 森 美智子 先生
- 日時： 平成20年12月3日（水曜日） 14：30～15：50
- 会場： 西粟倉小学校 多目的ホール

西粟倉村地域学校保健委員会では、「温かい人間関係を育むことのできる子供の育成」をテーマに取り組んでいます。今年度は小学校の人権教育講演会と合同で、家庭教育についての講演会を行います。子育てにマニュアルはなく、悩みはつきません。私たちが親として、どう接すればいいのか、どう生きればいいのか、きっとヒントがいただけると思います。保護者の皆様、一般の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

